

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区
大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



ROTARY
SERVING
HUMANITY

創立 1967年 12月 26日

- 会長 大東 弘
- 幹事 田川 和見
- 会報委員長 小林 誉典

大東ロータリー会長テーマ

「温故知新」

2016年～2017年度
国際ロータリーのテーマ

人類に奉仕するロータリー

第2660地区ガバナー方針
「The Ideal of service」

国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム

松本 進也

平成28年11月1日

No.2356

H28.10.25 (No.2355の例会記録)

今週の卓話 (11月1日)

「ロータリー財団月間に因んで」
上田 正義 ロータリー財団委員長

次週の予定 (11月8日)

「夜間例会」
担当 木村 克己 社会奉仕委員長
ゲストスピーカー
大阪府薬物乱用防止教育講師 大内 啓子氏

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月25日分)

会員数 39名 出席数 34名 欠席者 3名
特定免除 1名 その他免除 1名
出席率 91.89%

前々回 10月11日分

ホームクラブの出席者 33名 91.67%
メイクアップの結果 35名
特定免除 2名 その他免除 1名
欠席者 1名 修正出席率 97.22%

お知らせ

<ゲスト>

第2660地区 ガバナー 松本 進也 氏
地区幹事 高田 祥宏 氏

- ・ 11/5 米山スピーチコンテスト 9:30～
- ・ 11/8 夜間例会・社会奉仕情報集会 18:00～
- ・ 11/11 弁論大会 14:00～
- ・ 11/13 インターアクト 年次大会 10:00～
合同会議 16:00～
- ・ 11/17 第2回ゴルフコンペ
- ・ 11/22 第2回幹事会 15:00～
- ・ 11/22 例会休会
- ・ 11/26 第1回クラブ広報委員長会議 10:00～
- ・ 12/9-10 地区大会
- ・ 12/13 第49回クリスマス家族会
- ・ 12/27 例会休会



ニコニコ箱

後面に記載

皆さん今日は。

松本ガバナーにおかれましては公私とも何かとお忙しい中、ようこそお越し下さいました。本日はガバナー公式訪問の日ですので、先程別室にて田川幹事と共にクラブの現況報告をさせて頂き、ガバナーより色々のご意見を聞かせて頂きました。



今、ロータリー・クラブは変換期を迎えている様に思います。R I では、本年4月に行われました規定審議会において、例会の頻度・場所・方法、及び会員の種類・入会金の取扱い等といったクラブ運営に大幅な柔軟性を認めた制定案が採択され、本年度より新しい定款・細則が施行されております。

また、地区ではIM再の編成（現在8組から6組へのと）・ガバナー補佐の選出制度が着々進んでおり2018-19年度より実施される運びになっています。

今、大きく変わろうとするロータリーにあって、見失ってはいけないものすなわち「ロータリーの根幹精神」を松本ガバナーは本年度のガバナー方針とされています。私たち大東ロータリークラブも最大会員数71名が現在39名に会員が減少し、それに伴いクラブ運営も少しずつ変わって来ております。

そして、昨年度よりクラブ戦略計画委員会を立ち上げ、戦略計画の三本柱である

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上

を推進して行き会員増強につなげなければと考えております。

そして、来年度50周年に向けて一人でも多く会員増強を成し遂げなければなりません。

皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

最後に、松本ガバナーにおかれましては公務ご多忙のおり、お体をご自愛頂き、今後益々のご活躍を祈念致しまして、会長の時間とします。

委員会報告

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ◎ニコニコ箱委員会 | 山田 伸 委員長 |
| ・入会記念日 自祝 | 上田 正義 君 |
| ・松本ガバナー、高田地区幹事 ようこそおいで下さいました 感謝 | |
| | 大東 弘 君 |
| ・実行委員会発足に向けて 感謝 | 橋本 正幸 君 |
| ・藤本君、橋本君、佐藤君、ご協力ありがとうございました 感謝 | 中嶋 啓文 君 |
| ・親睦会欠席 (秋の家族会) お詫び | 池田 實 君 |
| ・松本ガバナーようこそおいで頂きました | 小川 芳男 君 |
| ・長野県上田市へ行って来ました | 木村 克己 君 |
| ・西山会員お世話になりありがとうございました 感謝 | 中野 隆二 君 |
| ・本日もたくさんのにこにこありがとうございます 感謝 | 山田 伸 君 |



- | | |
|--|-----------|
| ◎社会奉仕委員会 | 木村 克己 委員長 |
| 11月8日火曜日の例会は通常の昼間の例会はありません。場所を「まんま家」へ移動しての 夜間例会 となりますので、お間違えの無いようにご参加いただけますようよろしくお願い致します。 | |

日時 11月8日火曜日 18:00～例会
18:45～懇親会 (情報集会)

場所 「まんま家」4階

登録 3,000円



©2017-18 年度地区委員会出向者募集

橋本 正幸 エレクト

次年度（2017-18 年度）の地区委員会出向者募集が地区より届いておりますので、立候補されたい方は、橋本または事務局までご連絡ください。

<出向者募集 地区委員会>

クラブ奉仕・拡大増強 / 広報 / 職業奉仕 / 社会奉仕 / 青少年活動 /

ローターアクト / インターアクト / 青少年交換 / 国際奉仕 / ロータリー財団 /

米山奨学

大東RC創立50周年 第1回実行委員会 開催

大東RC創立50周年 第1回実行委員会 を開催させていただきます。各部門の委員長・副委員長の方はご参加よろしくお願ひ致します。

日 時 平成28年11月1日（火）例会終了後
約1時間程度
場 所 市民会館 例会会場



歌一首

ちはやぶる ^{かみよ}神代も聞かず ^{たつたがは}竜田川
からくれなゐに ^{みづ}水くくるとは

訳：神代にすら聞いたことがない。竜田川が紅葉によって水を真っ赤に染め上げているとは。

在原業平朝臣（ありわらのなりひらあそん）

在原業平 825～880 平城天皇の孫で行平の弟。六歌仙・三十六歌仙の一人。

美男で、『伊勢物語』の主人公とされる。

「 松本進也ガバナー公式訪問 」

第 2660 地区 2016-17 年度 ガバナー
松本 進也 氏**【2016-17 年度 RI 会長方針】**

改めまして、2016-17 年度 RI 会長テーマは、“Rotary Serving Humanity” -人類に奉仕するロータリー-であります。これは、「『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう。」という意味であります。

また、国際協議会で強調されたことが 3 点あります。

第一に、2016-17 年度はロータリー財団 100 周年の記念すべき年にあたることでした。

第二に、2018 年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことであります。当方も全てを具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

【本会議場看板】

この国際協議会の本会議場であるメインホールに掲げられた看板は 従来“ Enter to learn, Go forth to serve” 「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3 年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION” となっておりました。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

【記憶により残る方法】

2008 年の会長エレクトセミナー時に戸田パストガバナーから「記憶に留めるより良い方法」として「聞いただけでは 20%、見ただけでは 30%の理解が、見て聞いた結果は 50%になる」と講義を受けました。ご講義の中で「知識や概念を出来るだけ多く記憶に留まるよう助長するために、情報の提供方法を考慮しなければならない」という教えが大変印象的でありましたので、当方も今後、補助手段として紙媒体を使用いたします。

【2016-17 年度 第 2660 地区ガバナー方針】

さて、先程申しました RI 会長テーマを受け、第 2660 地区 2016-17 年度ガバナー方針を “The Ideal of service” –ロータリーの根幹精神–と決めました。

当該方針はロータリーの目的(以前は綱領と呼称)の第三項にも記載されています。1920 年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、‘The Ideal of service’ の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、”service “の本来の意味と合致しないからです。日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と” service” の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

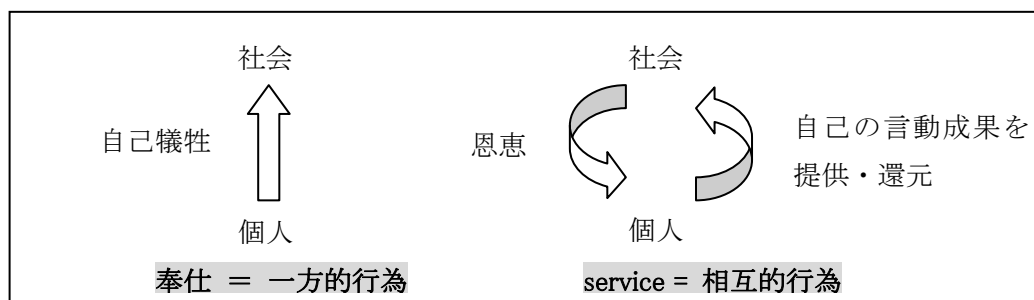
***奉仕 = 一方的行為**

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

***service = 相互的行為**

矢印は個人と社会を循環しています。

個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。

【2016-17 年度 第 2660 地区具体的目標】

2016-17 年度の第 2660 地区における具体的目標を次の 5 項目と決めました。

1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化による IT の促進
3. ロータリー財団 100 周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM 再編成

1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践

この基本理念を第 2660 地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会

に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。

この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

3. ロータリー財団100周年のお祝い、ポリオ撲滅

今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、RIは我々へ「100周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RIと共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのことでした。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたいと思っております。

また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の5つの観点を軸としています。先程の3本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは3の方が選抜されました。まず、横山PGはロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。

次に、高島PGはロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第2項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RIは戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

5. IM再編成

昨年12月5日の地区大会決議第8号にて「IMの在り方を決議する件」が採決され、2018-19年度の山本G年度を目処に、時代にあったIM再編成やガバナ―補佐の選出方法を実行することとなりました。当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山G年度に継承できるように尽力いたします。両案は9月24日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

【2016-17年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように決めました。

1. 年次寄付	1名あたり \$160	
2. ポリオ撲滅	1名あたり \$60	計\$220
3. ベネファクター	各クラブ1名	
4. 米山奨学金	1名あたり 30,000円	
5. 会員増強	1クラブ純増2名	

まず、年次寄付を1名あたり\$160、ポリオ撲滅に1名あたり\$60の計\$220とさせていただきます。

これは、ロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、RI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、ベネファクターを各クラブ1名といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。

第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。

通常増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成して頂きたいと存じます。

【2016年規定審議会】

2016年4月10日-15日 シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。

当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。

今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与

えるドラスティックな内容でした。

しかし、ロータリーの目的の第3項であり、当方のガバナー方針でもある“The Ideal of service”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おき頂きたく存じます。

また、斉藤RI理事より、本年の11月30日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出す了承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

【我々の最終到達点】

また、RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。

先人が築き上げられたこの伝統ある第2660地区を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。

クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3650人が「チーム2660」として一丸となり、日本34地区を牽引する地区となることを願います。

2016-2017 年度 国際ロータリー第2660地区



人類に
奉仕する
ロータリー



地区大会

第1日目

2016年12月9日 [金]

場所 / 大阪国際会議場

- 13:30~ 祝能 ————— 5階メインホール
- 14:00~ 開会式 ————— 5階メインホール
- 15:20~ 分科会/家族の集い — 10階会議場

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

場所 / リーガロイヤルホテル

- 18:00~ 開宴 ————— 光琳の間

第2日目

2016年12月10日 [土]

場所 / 大阪国際会議場

- 13:00~ 歓迎演奏 ————— 5階メインホール
- 13:30~ 本会議 ————— 5階メインホール
- 15:50(予定) 特別基調講演 — 5階メインホール

※友愛の広場は、両日ともに大阪国際会議場にて実施しております。



Rotary International District 2660
Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best

2016年10月25日

大東ロータリークラブ
会長 大東 弘 様
幹事 田川 和見 様

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 松本 進也

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は地区ロータリー活動にご尽力ご協力を賜りまして、深謝致しております。

さて、本日の公式訪問に際しましては、格別のご高配にあずかりましたこと、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。心温まるお出迎えに心から感謝申し上げます。

今年度のRIテーマは「ROTARY SERVING HUMANITY：人類に奉仕するロータリー」です。そして地区ガバナー方針を「” The Ideal of Service” —ロータリーの根幹精神—」と致しました。人は社会から恩恵を受け取ると同時に、自己の言動の成果を社会に提供し還元する、この”相互的行為”によって、皆様おひとりおひとりのロータリー活動が、クラブが、ひいては地域社会が、それぞれに恩恵を受け、より一層素晴らしいものになると強く信じております。

私も地区委員会、地区事務局員と一致団結しながら、クラブを支援するという役務を全うしたいと考えております。

一層のご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴クラブのますますのご発展と、貴クラブ会員の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしております。

敬具

※10月25日(火)ガバナー公式訪問され、卓話をして頂きました松本 進也ガバナーよりお礼状が届いております。掲載させて頂きました。